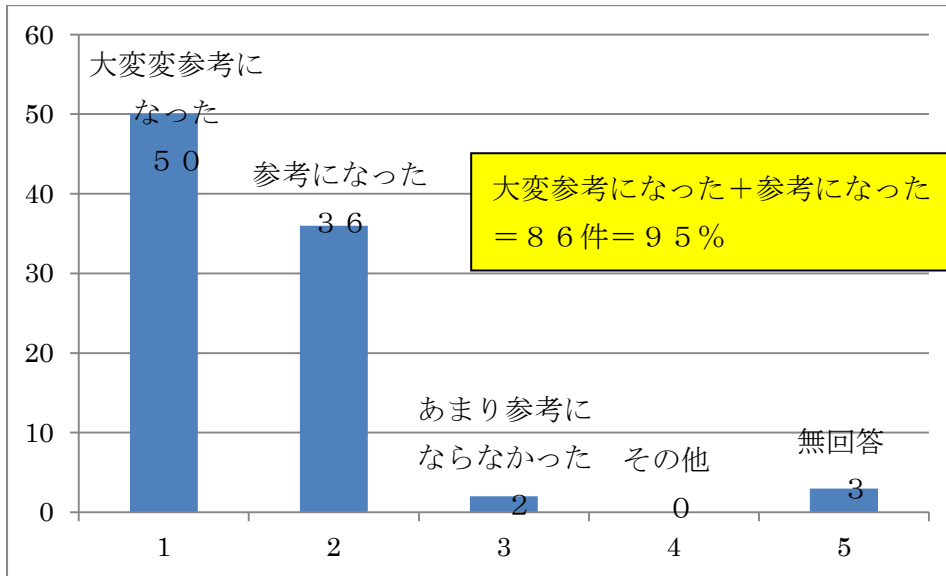


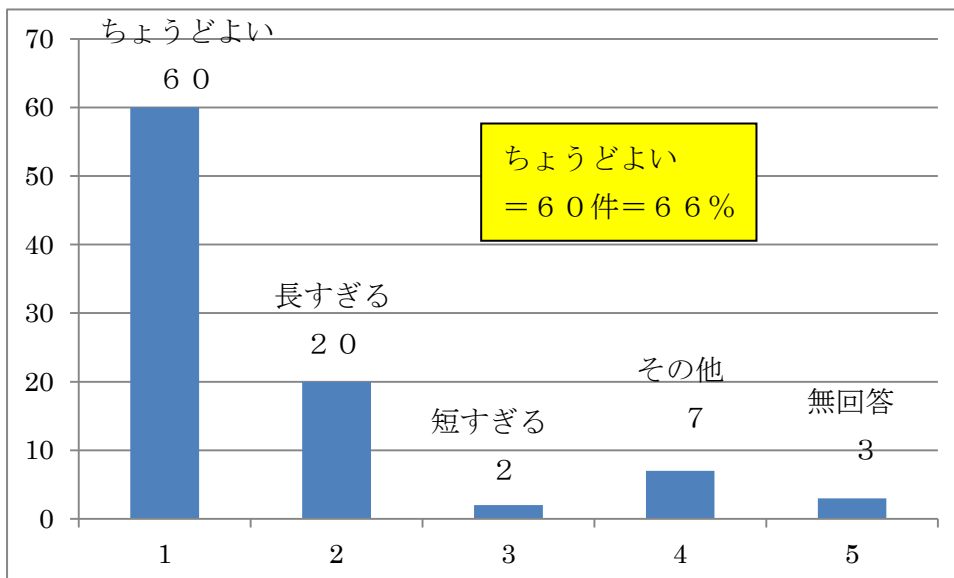
## 2/27 輸出管理 DAY for ACADEMIA アンケート分析結果

アンケート回答：91名

Q1: 輸出管理 DAY for ACADEMIA 2014 は、いかがでしたか？



Q2: イベントの時間についてお答えください。



Q3: 本日のプログラムの中で、特に印象に残ったテーマをお答えください。(複数回答可)

今回のアンケート調査では、91名の回答者のうち、65名がチュートリアルセッションの基調講演(講演者 山形大 足立教授)が印象に残ったと回答がなされた。ついで事例発表2(講演者 九州大学 岡田教授)、3番目に特別講演(講演者 経済産業省 坂元室長)の順番で印象に残ったという結果であった。セッションに対する印象の度合いとしては、パネルディスカッション“大学における研究活動と輸出管理上の課題”(38名)、チュートリアルセッション(36名)、パネルディスカッション“クラウドコンピューティングの管理について”(26名)という状況であった。

Q4: 次回開催する場合、取り上げてほしいテーマや改善点等あれば、ご記入ください。

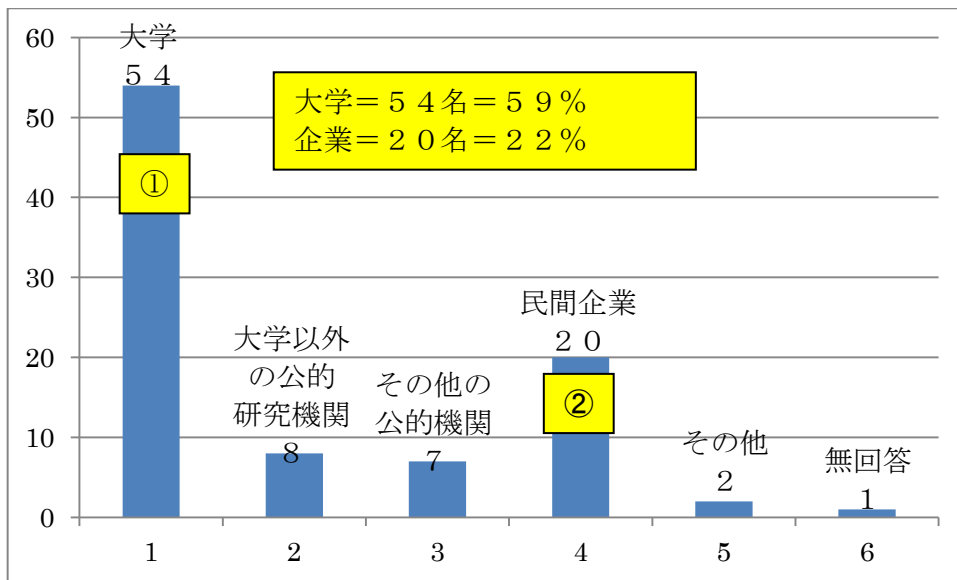
番号	自由記述内容
15	国大協教育研究委員会の専門委員会での検討会の報告をタイミングが合えば是非!
16	大学の輸出管理体制の紹介と該非判定、取引審査
17	・事例報告をもっと聞きたい、さしさわりのない程度に具体的に ・比較的大規模な総合大学ばかりではなく、小規模の大学か単科大学の取り組みがあれば、紹介してもらいたい。 ・パネルディスカッション時の講演が長すぎるのではないか。
20	・テロリストに新たに渡してはいけない技術は何かあるのか? ・日本の国益を考えたときの隣国等への高度な技術の提供でも規制すべきことは何か?
23	実際に作業(活動)をする先生方の意識改革に具体的に効果があった方法・手段についての説明が聞きたい。加えてヒヤリハットを含む失敗例も参考になる。
24	テーマを細分化して分科会形式を設けて欲しい。出席者が参加討論できる場があれば良いですね。2日間開催であれば交流会にも参加したい。
28	運用体制、人員等に絞った講演が欲しい。
34	共同開発事例
38	パネルディスカッションの意味があまりなかったような?
62	失敗事例、ヒヤリハット、など
64	コーヒーのサービスがありがたかったです。テーマの切り替え時にちょうど良かったと思います。
65	・アンケートで倫理指針を明文化しているところがあるようですが、その事例を紹介してもらえようであれば、参考にしたい。 ・外国人への説明パンフレットを出しているところがあれば参考にしたい。
66	Dual-use research of concern (DURC)の問題を取り上げてほしい。河岡先生(東京大学)がパネリスト(スピーカー)だと興味深い。
67	公知の概念について、詳しく取り上げてほしい。
69	・基礎科学分野の事例の検討と経産省への働きかけ ・先行事例の紹介(受け身から仕掛ける取組への進化)
70	外為法の考え方、特に判断の具体化において基準をどう考えるのか
71	ディスカッションで取り上げられたテーマについても今後継続的に議論する必要があるのではと感じます。
77	役務取引のみではなく貨物の輸出に関する事例報告や制度の内容(特に改正)の報告
85	私共の会社では、海外本社と大学との共同研究を行っており、本日のプログラムは大変勉強になりましたが、更に欲を言えば、次回は海外企業とのコラボについてもお話を伺わせていただけるとありがたいと思います。
88	企業での技術開発における安全保障輸出管理対応(大学との共同研究)

Q5: その他、ご意見・ご感想など、ご記入ください。

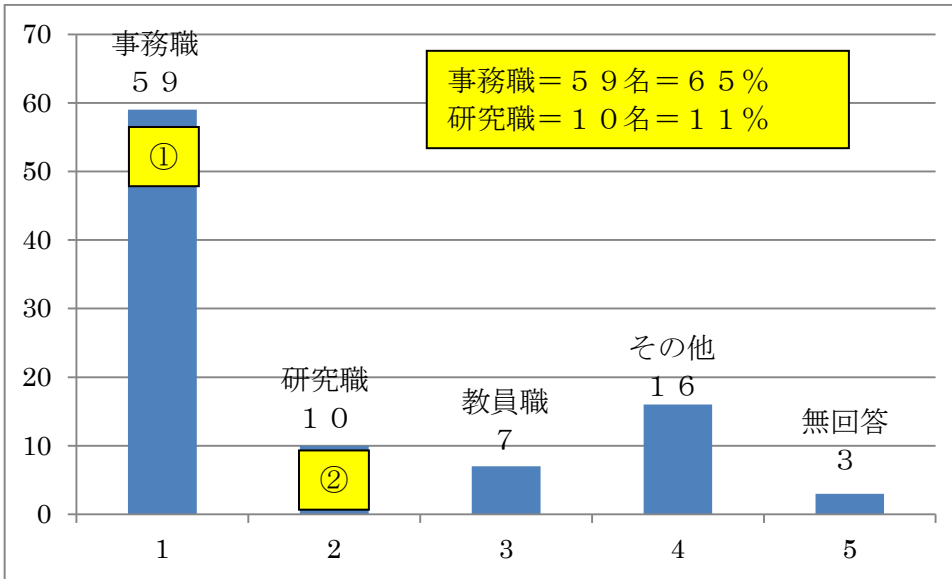
番号	自由記述内容
3	大学側の自主的取組が始動し、機能し始めていることがよくわかりました。当局(特に文科省)の影がうすいというか、当事者意識の低さがきになりました。
6	大学のレベルが理解できた
15	・文科省にも講演と体制づくりの考え方を! ・ぜひ大学の共通フォーマット(できるものからで可)を整えていってほしい。どこが主になっても良いから。
16	とても充実した内容であった。1回/年といわず、2回/年程度開催して欲しい
17	もっとチュートリアルセッションの講演が長く、件数が多くてもいい。
19	少し長いので、平日×年2回くらいが良いかと思った。 昨年の内容より踏み込んでおり、輸出管理の深化を感じた。
20	地下鉄サリン事件から言えるのは、既に世の中に大量破壊兵器開発に(最低限)必要な情報

	は出てしまっている。とすると、それ以上の情報の管理をしてもムダとも言えると感じる。装置等のモノの規制、その装置の操作方法の規制だけで良いのではないか。
23	輸出管理を担当する事務職員(専任者)と教員が業務を対応する場合ではその進め方に微妙に差があると思う。前者にプロフェッショナルを作る(研究)場になる事が必要では?教員たちの寄り合いの場になっていないか?
24	すばらしい取組です。関係者の皆様に感謝いたします。今回も大変勉強になりました。
25	参加者が同じ顔ぶれになっている(輸出管理担当者)ので、大学のトップ(来賓)を招くなどして大学の上層部の意識を上げる機会に利用できないか。
28	大変参考になった。
34	関西でも開催してはどうか?
38	大学の統一した(共通で使える)チェックリストやマニュアル等を公開していただけると非常に助かります。
39	会場空調、音量調整を改善されたい。
43	事例を多く発表していただきたい。
60	質問をさせて頂きましたが、神戸大のスパコンのように、調達時にマニュアル等の公開を仕様(東工大の日本2位のスパコンは全て公開)とすれば、安全保障輸出管理上の問題をクリアできます。受動的な対応だけでなく、能動的な対応のやり方も議論頂きたい。
62	教員が参加したくなるような工夫があるといい
64	大学等研究機関のお客様から該非の判定を依頼されることが少なくないメーカーの人間ですが、業者(メーカーと研究機関の間の)さんやメーカーの側も意識を高めないと、これら研究機関で戦っている方々の足を引っ張ることになりかねないことを、再認識しました。
65	・ポインターを使用して話しているポイントを示してもらえると聞き易かったと思います。
66	特別講演(経済産業省)は、大変に興味深いものでした。来年、外為法改正時の経済産業大臣政務官谷合参議院議員が良いと思います。
67	輸出管理体制や日頃の業務に大変参考になり、ありがとうございました。
69	・クラウドは、ツールとして割り切ることが必要と思います。 ・アカデミアであるからこそ、輸出管理の本質を研究して欲しい。
70	素晴らしい企画、ありがとうございました。勉強になりました。
71	非常に濃密な内容ですので、1日だけで終わらすのはもったいない(1日だけではとても終わらせきれない)と思います。難しいでしょうが、複数回あるいは数日間の開催を検討いただければと思います。
74	特にテキスト(P22)定期的、形式的な人事異動により、エキスパートを各部門に育成することの難しさ、輸出管理部門が営業と他部門(経理、システム、取締役)などと連携し、誰もが共有でき、違反を起さないための体制を構築してゆきたい。民間企業ですが、大学と同じです。とても共感でき、熱くなりました。
75	私大(早大以外)の取組状況や事例を知りたい。
77	用語の定義(それぞれの発表者)を明確にして発表していただけると幸いです。
78	運営に携わった方々、まことにお疲れ様でした。大変勉強になりました。
81	京大のe-learning研修と同様のものが誰でも利用できることが望まれる。参考になりました。
85	大変勉強になりました。ありがとうございました。
88	グローバルな取引が増していく際に「基礎研究」の定義の共通理解が必要である
91	今後も継続していければと思います

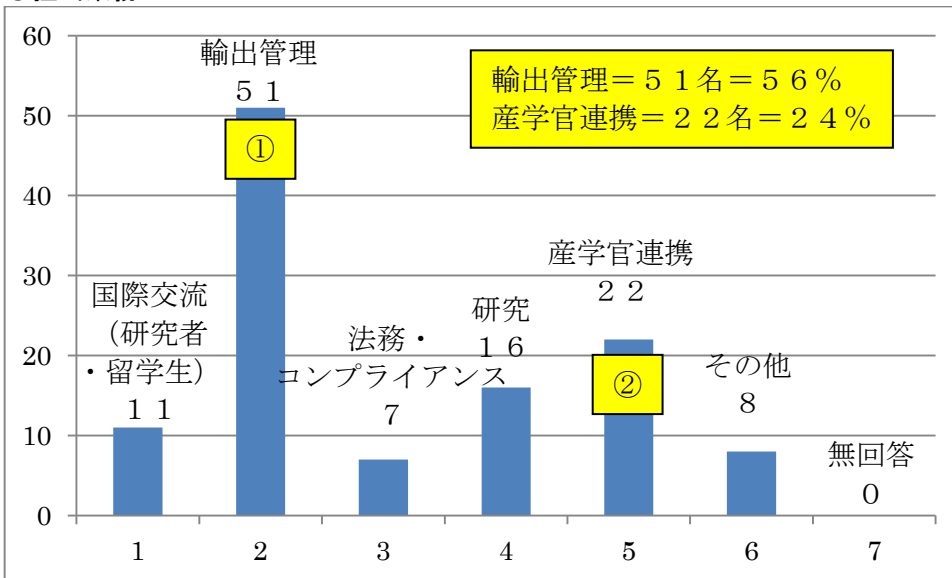
●所属機関



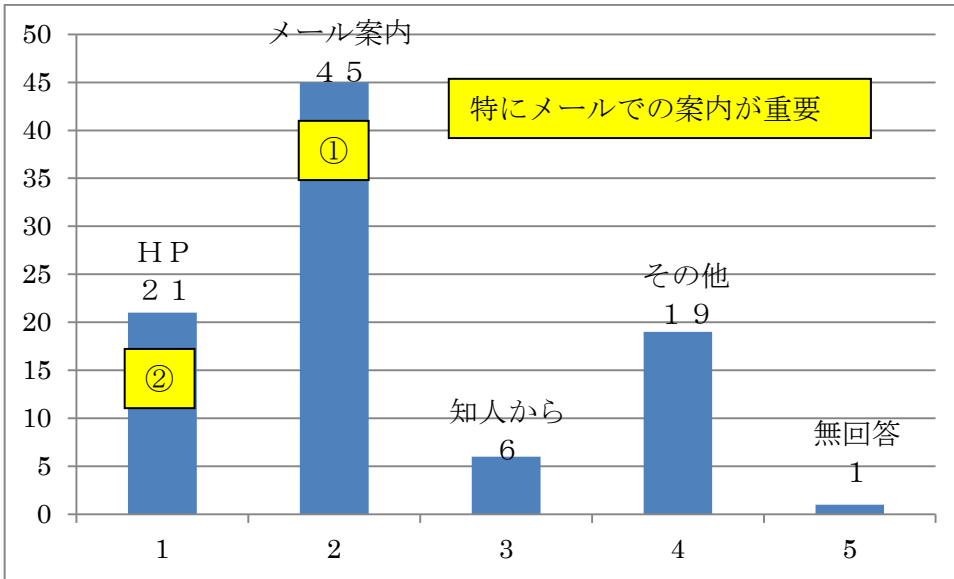
●職種(複数回答可)



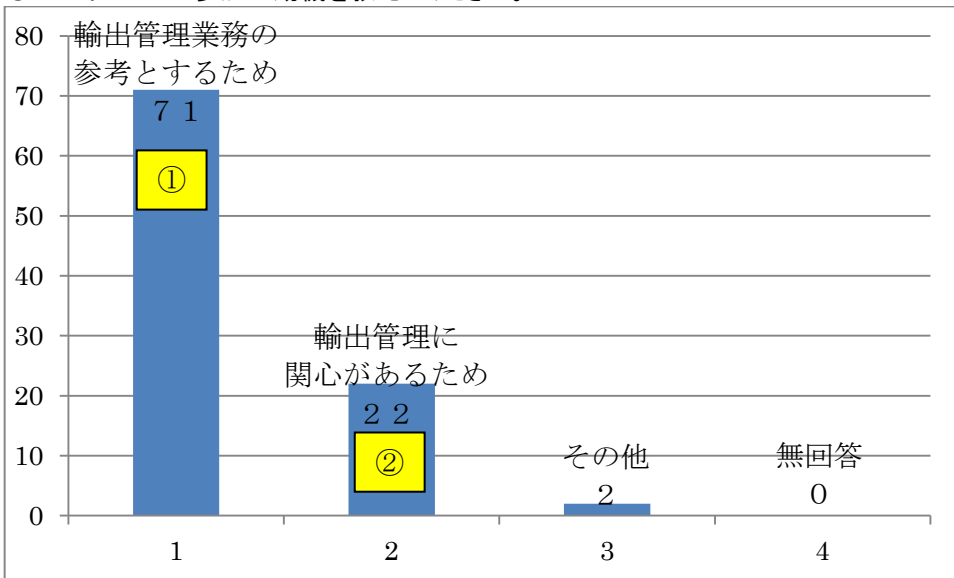
●担当業務



●このイベント開催を何で知りましたか？



●このイベントの参加の動機を教えてください。



以上